

食育全体計画

学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましくしなやかに未来を生き抜く生徒の育成

- (1) 基礎学力を身につけ、自ら考え行動できる人間の育成
- (2) 豊かな情操をもち、誠実に生きる人間の育成
- (3) 心身ともに健康で、根気強く成し遂げる人間の育成

【生徒の実態】

食生活への関心は高く、朝食を毎日食べる生徒（85％）が多い。給食の残食が多い実情もある。

【保護者・地域の実態】

住宅地が急速に広がって生徒数が多い。保護者の教育への関心は高く、PTA活動にも協力的である。

【国】1日あたりの野菜摂取量の平均値350g以上等

・第4次基本計画に準じる。

【県】朝食の欠食率週4日以上0％等。徳島県食育推進計画第4次に準ずる。

【市町村】北島町食育推進計画に準ずる。

食育の視点

- ◇食事の重要性
- ◇心身の健康
- ◇食品を選択する能力
- ◇感謝の心
- ◇社会性
- ◇食文化

食に関する指導の目標

（知識・技能）成長に応じた栄養素・食品の量や、食事や食品の摂り方、食文化等を理解し健康で健全な食生活に関する知識や技能を身につけている。

（思考力・判断力・表現力等）食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりできる。

（学びに向かう力・人間性等）主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に感謝する心を育み、食を通じた人間関係を形成する能力を養う。

小学校

- ・食品の栄養素やはたらきを知る。
- ・簡単な調理ができる。
- ・健康を意識して、好き嫌いなく食べる。
- ・食に関わる人々に感謝し、正しいマナーで食事できる。

各学年の食に関する指導の目標

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食事の関わりを知り、中学生期の栄養の特徴について理解する。 ・地域の産物や食文化を理解し、生産者や自然の恵みに感謝する心を育む。 ・食の安全性について自ら判断し、的確な選択や取り扱いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の自立をめざして、食事の管理や調理ができる。 ・食料生産や地産地消についての知識を深め、環境に配慮した食生活が実践できる。 ・スポーツと健康に食事が密接に関わっていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験期の食生活について、健康を考えた食事ができるようになる。 ・高齢者や幼児等にも配慮した食生活についての知識を増やし、実践できる技能を身につける。

食育推進組織

校長 教頭 学年主任 給食主任 食育リーダー 家庭科担当教諭 養護教諭 校務員

食に関する指導

- 教科等における食に関する指導：関連する教科（技術・家庭科、保健体育科、理科、社会科、総合的な学習の時間）において、食に関する指導の視点を位置づけて指導する。
- 給食の時間における食に関する指導：食に関する指導：給食放送、動画の視聴、教科での学習、専門委員会の活動
- 給食に指導：手洗い、配膳、マナー、片付けの中で習得
- 個別的な相談指導：食物アレルギー面談、栄養相談

地場産物の活用

「北島町産コシヒカリ、にんじん、大根、れんこん、さつまいも、ねぎ」などを学校給食に活用している。
毎月19日を食育の日として、様々な取組を実施している。

家庭・地域との連携

- ・個別的な相談指導、給食だより、給食試食会、ステップ（適応教室）との連携などを行っている。
- ・ホームページによる啓発活動
- ・給食センターとの連携（学校食育推進パワーアップ作戦）

食育推進の評価

- ・活動指標 給食放送の毎日実施100％ 給食委員会の毎月の活動率100％ 給食センターとの連携毎月
- ・成果指標 給食の残菜20％減